

重点政策3 生涯にわたる創造的な学びのための環境づくり

急激な社会構造の変化と技術革新が進む中、この信州が持続的に発展し県民が豊かに生きていくためには、子どもから大人まで全ての世代において「自らの未来を自ら創造していく力」を身に付けることを、生涯にわたる学びの軸とする必要があります。

実生活で直面する様々な社会的課題は、時代や社会背景の変遷とともに絶えず変化しており、一個人の力で解決することは困難な状況です。コミュニティが課題を共有し学び合い、多様な価値観と関わりながら新しい付加価値を生み、自分たちなりの解決策を導き出していく主体的・創造的な行動（「みんなの学び」）が、これからの時代には求められています。

また、人生100年時代の多様な働き方や生き方を見据え、人生のあらゆる場面で必要な学びや学び直しに取り組むことができる環境整備が必要です。

県民誰もが、学びたいことを、学びたいときに、学ぶことができるよう、個々の学びの機会の充実を図るとともに、夢の実現に向けて行動を起こし、仲間と新しい価値を創造していく「みんなの学び」を支援するしくみを市町村と協力して展開し、多様な学びの活動が全県で活性化していく環境づくりに取り組みます。

目指す方向性

県民誰もが主体的に学んでいけるよう、個々の学びの機会の充実を図るとともに、夢の実現に向けて行動を起こし、仲間と新しい価値を創造していく「みんなの学び」を支援するしくみを市町村と協力して展開し、多様な学びの活動が全県で活性化していく環境づくりに取り組みます。

重点的な取組

□ 信州の記憶・記録を未来に伝える情報基盤の構築

- 信州にまつわる情報資産（資料や博物）の収集保存を強化するとともに、インターネットを通じて誰でも自由に使えるデジタル情報基盤を整備します。
- 図書館に、信州に関する情報基盤を整備する「信州 知の入り」ポータルを構築します。
- 図書館において、全ての県民が情報を扱う力を身に付けることを目的に「これからの図書館フォーラム」等を開催します。

第3回 長野県生涯学習審議会 意見交換用資料

(「第3次 長野県教育振興基本計画原案 検討資料」抜粋 P31～P32、P78～P81)

- 歴史館において、信州のアイデンティティを伝える「県民をもっと元気に！」プロジェクトを展開します。

□ コミュニティの育ちを支える人材の育成

- 日々の暮らしの中の気付きを促し、地域の学びを支える人材のコーディネート能力、ファシリテート能力の養成に取り組みます。
- 生涯学習推進センターにおいて、公民館主事等の地域の学びの活動の中核を担う人材の養成を行います。
- 人権問題、シニアの社会参加、消費生活、環境問題など、生活課題に関わる学びの取組を知事部局と連携して推進します。

□ 社会教育施設を活用した、創造的な学びの場や機会の提供

- 社会教育施設の機能を見直し、学びのプラットフォームを構築します。
※社会教育施設が「社会教育」だけやっているのではなく、学校教育での活用も含め、全ての人々に開かれた学びの場となることを想定
- 図書館が、多様な県民の学びを支える「地域の情報拠点」としての役割を果たすため、県立図書館を中心に様々な情報を活かした新しい図書館づくりに取り組みます。
- 歴史館（博物館）において、史資料の調査・研究、公開を推進していくとともに、地域貢献型の取組みを推進していきます。
- 生涯学習推進センターにおいて、県民の主体的な学びの成果を蓄積するなど県民の多様な学びを支援します。
- 地域課題や現代的課題等を身近な場所で学ぶ「未来型公民館」の活動を支援し、地域コミュニティの拠点づくりを推進します。
- 地域における学びの場である社会教育施設において、「みんなの学び」を推進する課題解決型プログラムを、県内各地で実施します。
- 県民誰もが、必要な情報を収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力を身に付けられるよう、市町村図書館と連携して、情報活用能力の向上に資するプログラムを実施します。

第3回 長野県生涯学習審議会 意見交換用資料

(「第3次 長野県教育振興基本計画原案 検討資料」抜粋 P31～P32、P78～P81)

< ベーシックな施策 >

6 学びの成果が生きる生涯学習の振興

(1) 「みんなの学び」の推進

現状と課題

- 急激な社会構造の変化と技術革新の中、この信州が持続的に発展し県民が豊かに生きていくためには、子どもから大人まで全ての世代において、いかに社会が変化しようと「自らの未来を自ら創造していく力」を身に付けることが必要になっています。
- 実社会で起きている問題を乗り越えるための課題は、時代の変遷とともに絶えず変化するものであり、一個人の力で解決することは困難な状況となっています。このため、多様な人々によるコミュニティが「私たちの課題」として共有し、コミュニティが学び合い、自分たちなりの解決策（＝新しい社会的価値）を創造していく主体的な行動（「みんなの学び」）を活性化するため、それを支える社会的基盤を整えることが必要になっています。

検討中

成果目標

- 県民が生涯にわたって学び続け、地域の課題解決を主体的に担うことができる力を身に付けられるようにします。

測定指標

測定指標項目	現状値	2022年度の目標	備考
公民館における学級・講座の学習内容のうち「家庭教育・家庭生活」「市民意識・社会連絡意識」「指導者養成」の参加者数			
生涯学習推進センター研修講座利用者数			

第3回 長野県生涯学習審議会 意見交換用資料

(「第3次 長野県教育振興基本計画原案 検討資料」抜粋 P31～P32、P78～P81)

主な施策の展開

「みんなの学び」を推進するために、次のような取組を進めます。

- ① 信州の記憶・記録（情報）を未来に残す仕組みの構築
 - 信州のアイデンティティを未来に伝えるため、図書館・歴史館において、信州にまつわる情報資産（史資料、博物）の収集保存を強化します。
【文化財・生涯学習課】
 - インターネットを通じて、誰でも自由に使える、信州に関するデジタル情報基盤を整備します。【文化財・生涯学習課】
 - 全ての県民が情報を扱う力を身に付けるため、市町村図書館と連携して情報リテラシーの向上に資するプログラムを実施します。【文化財・生涯学習課】
- ② コミュニティの育ちを支える人材の育成
 - 生涯学習推進センター等において、地域の学びを支えるコーディネーター・ファシリテーターを養成します。【文化財・生涯学習課、地域振興課】
- ③ 新しい社会的価値を創る場と機会の提供
 - 課題解決型の「みんなの学び」”co-Learning”ワークショップのモデル事業を実施します。【文化財・生涯学習課】
 - インターネットを通じて県民が自ら創る学びの過程や成果の情報を広く共有できる環境を構築します。【文化財・生涯学習課】
 - 地域活動の拠点としての社会教育施設から、「みんなの学び」の姿を発信するとともに、地域課題や現代的課題等を身近な場所で学ぶ機会の提供、住民の地域活動やボランティア活動への参加促進を図る公民館の取組を支援し、地域コミュニティの拠点づくりを推進します。【文化財・生涯学習課】
 - 住民力・地域力による持続可能な地域づくりに向けて、県・地域振興局が市町村とともに地域や住民を支える取組を進めます。【文化財・生涯学習課、地域振興課】
 - 生涯学習推進センターにおいて、地域の生涯学習指導者の養成を行うなど県民の多様な学びを支援します。【文化財・生涯学習課】
 - 図書館が、多様な県民の学びを支える「地域の情報拠点」としての役割を果たすため、県内公共図書館と連携して、様々な情報を活かした新しい図書館づくりに取り組みます。【文化財・生涯学習課】
 - 各地域で行われている学びの活動を知り、良い取組を評価するフォーラムやアワードを開催します。【文化財・生涯学習課、地域振興課】

第3回 長野県生涯学習審議会 意見交換用資料

(「第3次 長野県教育振興基本計画原案 検討資料」抜粋 P31～P32、P78～P81)

(2) 生活課題に対応する多様な学びの機会の提供

現状と課題

- 高齢化が進展する中で、シニアの社会参加の場づくりや、社会参加への結び付けが課題となっています。
- 地域の人権教育を主体的に推進する「地域リーダー」を育成していくことが求められています。
- 消費者教育に係る出前講座・セミナーを数多く開催していますが、消費者被害は依然発生しています。このため、消費者被害の未然防止のために、より一層消費者の学習機会を確保していく必要があります。
- 県内で様々な主体による環境教育が行われていますが、限られた人しか情報が伝わらず参加者が限定的となっている課題があります。
- 生活が便利になり、水辺との関わりが少なくなっている中で、身近な水辺における自然とのふれあいを通じて、県民の水環境保全意識の高揚を図る必要があります。

検討中

成果目標

- シニアの社会参加の促進と、シニアの活躍の場を広げることにより、人生二毛作社会を作ります。
- 県民が環境教育の情報を容易に入手することができ、誰もが環境教育を受講しやすい環境を整備します。

測定指標

測定指標項目	現状値	2022年度の目標	備考
シニア大学受講者数			
森林セラピー利用者数			

第3回 長野県生涯学習審議会 意見交換用資料

(「第3次 長野県教育振興基本計画原案 検討資料」抜粋 P31～P32、P78～P81)

主な施策の展開

生活課題に対応する多様な学びの機会を提供するため、次のような取組を進めます。

① 豊かな社会生活を送る機会の充実

- 高齢者が、新たな知識の習得や地域活動の参加などを通じ、豊かな社会生活を送ることができるよう支援します。【健康増進課】

② 社会人権教育の推進

- 参加型、体験型、協力型研修会を通して、各地域において、知識の伝達だけでなく、県民自らの具体的な行動や実践につなげることができる人権教育リーダーを育成します。【心の支援課】
- 地域主体による人権教育事業を促進するとともに、啓発資料等により、各地域の先進的な取組等の情報提供を行います。【心の支援課】

③ 消費者教育の推進

- 消費者が適切な選択を行うことができるよう、学習の機会を提供します。【環境政策課】

④ 環境教育の推進

- あらゆる世代が環境教育を受講しやすい環境を整備し、環境教育を推進します。【くらし安全・消費生活課】
- 自然観察会、森林セラピーを含む森林・林業体験など自然を体験し学習できる場を提供します。【文化財・生涯学習課、自然保護課、信州の木活用課、県産材利用推進室、森林づくり推進課】
- 水辺における自然とのふれあいを通じて、水の大切さを知り、水環境の保全を推進します。【水大気環境課】